



八中だより



令和3年10月4日 10月号
調布市立第八中学校
校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

個別最適な学びを目指して

校長 佐藤 政彦

A君は、周囲の者から動作が遅く、能力が低いと思われていました。しかし、担任がよく観察をしてみると、実は、A君は行動に移るまでの決断に時間がかかり、そのために自分にはできないと思込みが強い生徒だったとわかったのです。そして、A君が“他に依存している自分を嫌がっている”ことや“いつかは自分でやる勇気や自信を持ちたがっている”ことが分かったのです。

A君のようなケースでは、大人が判断を誤ってしまうと、本来持っている適性や能力を閉ざしてしまうことがあります。私たち大人は、子どもの特性を適切に把握し、将来への希望を持たせ、力強く生きるための助言を与えなくてはなりません。

生徒一人一人の個性が異なり、考え方や捉え方・見え方が違う中で、教師は個々の特性を見極めながら適切な指導を展開していきます。しかし、一担任では限界があり、教員同士の情報の共有や家庭との連携をすることで、生徒個々への理解を深めることができます。特に、ご家庭との連携は大切に、子どもの表情は学校と家庭とでは大きく異なることもあり、日ごろから忌憚なく連絡を取りあえる関係が築けることを願っております。

八中では、個の特性を理解するとともに、個々の適性や能力が育まれる環境づくりにも力を入れています。全教科共通の取組として、『授業のめあてを明示する』ことや『視覚的に見やすいICT機器の活用』、『話し合い活動における基本的な手順・ルール』などを実践しています。また、学級集団にも注目し『不登校やいじめの防止、あたたかな人間関係づくりを目指した診断テスト』を取り入れ、個の力だけでなく集団の力にも注目し『認め合い、励まし合い、高め合える学級集団づくり』を進めています。これらのことは校内研究の一環としても位置付けており、半期に一度、生徒アンケートにより実践の成果を検証しています。

これからの学校は『個別最適な学び』を目指さなくてはなりません。子どもたちの多様な個性（能力・適性）に合わせて、誰一人取り残すことなく、個に適した学びを保障していきます。例えば、Chromebookによる理解度に合わせた学習ツールの活用や、チャット形式での意見交換など、ICTの導入により可能はどんどん広がってきました。また、従来からの探求的な学習や体験活動も忘れてはなりません。本校ではこれらの方向を目指し、研修や研究を充実させ、生徒一人一人に将来を力強く生き抜くための力をつけられるよう、教員一丸となり指導方法の改善に努めております。

◇第1回学校評価から

学校評価の提出にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート提出率が約8割で多くのご意見を伺うことができました。今回も全体的に肯定的なご意見が多く、本校の教育活動に概ねご理解をいただいているように受け止めると同時に、さらに改善できる部分について、集計結果を基に下記のように課題を分析いたしました。

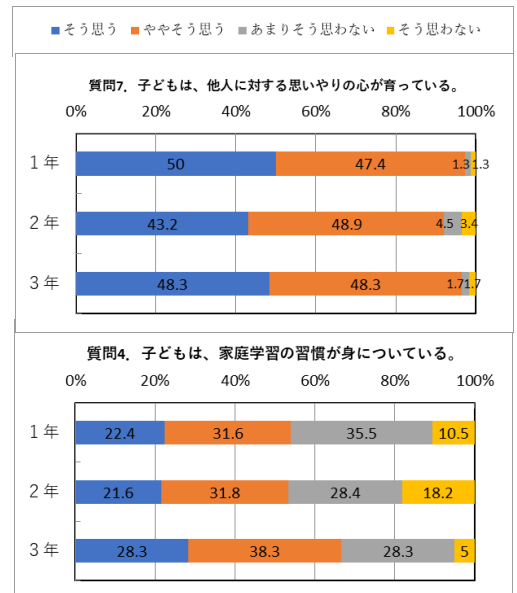
☆ アンケートのデータから

- 良かった点（肯定的な意見が特に高いもの）→上のグラフ
 - ・人権意識を高める指導を推進し、思いやりの心が育っている。
 - ・学校や生徒の様子为学校便り、学年通信で家庭に伝わっている。
 - ・コロナ感染防止を含め、生徒たちの安全や健康に配慮している。
- 改善すべき点（肯定的な意見がやや低いもの）→下のグラフ
 - ・家庭学習の習慣が身につくよう工夫してほしい。
 - ・学校行事に積極的に参加できるようになってほしい。
 - ・健康で基礎的な体力をつけさせてほしい。

改善すべき点についてはコロナ禍の影響を感じる結果ではありましたが、家庭学習については Chromebook の活用を進めることで定着を図るなど、検討していきたいと思っております。

★ 自由意見より

- 体育着登校について → 緊急事態宣言下では、更衣中の密を避けるため体育着登校にいたしました。
 - Chromebook の不具合について → 早急に代替機の貸出や修理対応を業者にしてもらっています。
- ☆詳しいアンケート結果のデータは、学校ホームページにアップしてあります。



9/6(月)～10(金) オンライン授業

コロナウイルス感染拡大防止のため、急きょ夏休みが延長、2学期始業式が9月6日となりました。また、最初の一週間は市内一斉にオンライン授業になり、Chromebook を活用しての学習を行いました。

1人1台の端末が貸与されて約半年。これまでも毎日の授業で利用してはいましたが、全員が家庭から参加するのは初めての取組でした。初日は不慣れな生徒もいましたが、2日目以降はスムーズに参加できるようになりました。毎時間、Google クラブルーム内の先生が作成した動画を見てから取り組み、ミラシードや Google フォーム等で学習の定着を確認しました。コロナ禍での対応ではありましたが、今回身に付けた ICT に対するスキルは、これからの社会を生きる皆さんにとって、必ず強い力となるはずです。



普通救命講習 9/21・9/24(3年生)

調布市では公立学校の中学3年生を対象に普通救命講習を実施しています。コロナ禍という状況で、密を避けるために昨年同様1クラスずつ体育館で受講しました。消防署の方の指導の下、消毒など感染対策をしながら、AED を使った心肺蘇生法や応急手当など、講義と実技、3時間の講習を受けました。受講者全員が無事に認定証を取得することができました。この資格は3年間有効です。災害時など緊急な場面に遭遇したら、適切な行動を取れるようにしてほしいと思います。

合唱コンクールについてのお知らせ

先日お知らせを配布しましたように、10月26日(火)に調布市グリーンホールにて合唱コンクールを実施いたします。今年度は感染予防のため、保護者の参観は各家庭1名といたします。入場の際にはご家庭に配布するプログラムを入場券の代わりとしますので、受付でご提示ください。

また、保護者による動画・写真撮影は禁止といたしますが、後日、体育祭と同様に動画の配信と業者による写真販売を行う予定です。動画につきましては、合唱コンクール終了後にURLを安全安心メールで送信いたします。11月6日(土)までの限定配信といたしますのでご了承ください。